

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	形成外科学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期	前期	教室名	702
担 当 教 員	田 中 晋				
実務経験と その関連資格	大学教員歴 18年 関連資格:(社)日本口腔外科学会専門医・指導医 国際口腔顎顔面外科専門医(BCSOMS) 日本口蓋裂学会認定師(口腔外科) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医				
《授業科目における学習内容》 形成外科学の歴史からみた学問的意義と取り扱う疾患群について概説した上で、形成外科治療の基本となる上皮組織の創傷治癒機構に関わるメカニズムについて講義を行う。また、様々な領域の損傷、外傷、手術に際して必要となる再建外科、移植の基本概念について学び、各論で各術式の特徴、適応症について理解を深める。さらに、形態的再建と機能的再建の両方を必要とする先天奇形に対する形成外科治療について、特に口唇裂・口蓋裂を代表疾患として治療法とその目的、術式・治療法の分類、適用時期について系統的に学習する。					
《成績評価の方法と基準》 定期試験100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 レジュメ 参考図書: 歯・口腔 成人看護学⑮ 医学書院 「口腔外科学」第4版 白砂兼光・古郷幹彦編(医歯薬出版)					
《授業外における学習方法》 配付資料内容をもとに、適宜参考書・テキスト、解剖学書なども参照しながら理解を進めること。					
《履修に当たっての留意点》 履修学課の臨床実地における重要性について理解し、単なる知識の詰め込みとならない学習が求められる。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	臨床医学における形成外科学の意義と取り扱う疾患群について説明できる		配布資料(参考テキスト)	(予習課題)創傷治癒過程のメカニズム
	各コマにおける授業予定	形成外科の概念、現在に至るまでの歴史や対象疾患についての概説を行う。皮膚の解剖学的構造ならびに生理作用、または創傷治癒のメカニズムについても解説する			
第2回	授業を通じての到達目標	創傷治癒のメカニズムと治癒過程に影響を及ぼす諸因子について説明できる		配布資料(参考テキスト)	(予習課題)遊離植皮術の方法、適応症
	各コマにおける授業予定	創傷治癒過程に影響を及ぼす諸因子について解説し、ケロイドなど瘢痕にみられる異常治癒の症状、治療方法についても説明する			
第3回	授業を通じての到達目標	植皮術の定義・分類・移植方法・適応症について説明できる		配布資料(参考テキスト)	(予習課題)遊離皮弁移植の特徴と適応
	各コマにおける授業予定	植皮術の定義と歴史について説明し、分類・移植方法・適応症について概説した上で、分層植皮・前層植皮の特徴および有形弁移植術における血行動態・特徴を解説する			
第4回	授業を通じての到達目標	再建術式の種類と利点・欠点ならびに適応症について説明できる		配布資料(参考テキスト)	(予習課題)顎顔面外傷の分類と治療法
	各コマにおける授業予定	マイクロサージャリーを用いた遊離皮弁移植術における特徴と適応(皮弁の生着メカニズムと術後合併症を含む)について、実際の臨床例を供覧するとともに解説する			
第5回	授業を通じての到達目標	顎顔面領域の外傷の分類、治療法について説明できる		配布資料(参考テキスト)	(予習課題)口唇口蓋裂の総合治療
	各コマにおける授業予定	顎顔面の外傷について説明し、その治療法について解説する			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	口唇裂・口蓋裂に対する総合治療の目的と各成長時期に必要な治療内容について説明できる	配布資料(参考テキスト)	(予習課題)顎顔面領域の先天奇形
	各コマにおける授業予定	口唇裂・口蓋裂治療におけるホツツ床の役割・哺乳管理・口唇形成術・口蓋形成術・二次的修正術・骨移植術について解説する		
第7回	授業を通じての到達目標	先天奇形の種類と合併する症候群について説明できる	配布資料(参考テキスト)	(予習課題)第1～7回講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	顎顔面領域に発症する先天奇形の種類と合併する症候群について概説する		
第8回	授業を通じての到達目標	講義内容に対する試験	配布資料(参考テキスト)	
	各コマにおける授業予定	第1回～第7回の講義内容の復習と補足解説を行う		